主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人阿久津英三、同田中親義の上告趣意(後記)は結局名を憲法違反に藉りその実事実誤認、量刑不当その他単なる訴訟法違反の主張に帰し、刑訴四〇五条に該当しない。また記録を精査しても、同四一一条を適用すべきものとは認められない。よって刑訴施行法三条の二刑訴法四〇八条により主文のとおり判決する。

この判決は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年一〇月一一日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	沢	田	竹治	郎
裁判官	真	野		毅
裁判官	齊	藤	悠	輔
裁判官	岩	松	Ξ	郎